

港湾整備事業

東北海道は、酪農に適した冷涼な気候・広大な大地や寒流・暖流の混ざり合う好漁場を有する地域であり、全国有数の生乳生産量や漁業生産量を誇り、我が国の食料供給基地として非常に重要な役割を果たしています。根室港では、平成29年5月に農水産物輸出促進基盤整備事業に係わる連携水揚港湾の認定、釧路港では平成31年3月に西港区において大型船舶による穀物の大量一括輸送を可能とする国際物流(バルク)ターミナルが供用を開始しています。

港湾整備では、引き続き東北海道と本州方面や海外との更なる物流効率化・交流円滑化を図るとともに、地場産業の拠点や生活基盤として地域の特性を活かした物流ネットワークの維持・形成を図っていきます。

釧路港

西港区では、港内静穏度向上を目的とした島防波堤の整備と船舶の円滑な利用を確保する泊地浚渫を実施します。東港区では、老朽化した西防波堤の改良を実施します。



釧路港西港区浚渫状況

十勝港

飼料原料を運搬する大型貨物船などの船舶の安全な利用を確保するため、航路等の浚渫を実施します。



十勝港本港地区浚渫状況

根室港

花咲地区では、新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応し、水産物の輸出競争力強化を図るため、屋根付き岸壁の整備を実施します。



根室港花咲地区-6m岸壁整備状況

霧多布港

利用船舶の安全航行を確保するため、北防波堤の改良を実施します。



霧多布港本港地区北防波堤整備状況

港湾整備事業の概要

事業区分	港湾名	地区名	事業の概要
港湾整備事業	重要港湾 釧路港 (国際バルク戦略港湾)	西港区 東港区	島防波堤、水深14m泊地 西防波堤改良
	重要港湾 十勝港	本港地区 外港地区	水深14m航路、水深13m航路 水深2m泊地
	重要港湾 根室港	花咲地区	水深5.5m岸壁改良、水深6m岸壁改良
	地方港湾 霧多布港	本港地区	北防波堤改良

空港整備事業

東北海道は、世界自然遺産の知床、阿寒・釧路湿原の他多数のラムサール条約登録地など、自然に恵まれており、多数の国内・国外の観光客が訪れる中、釧路空港は広域的な観光周遊等の玄関口として重要な役割を担っています。

国内・国外航空路線網の基幹空港である釧路空港において、「観光先進国」の実現に資するよう、航空機の安全運航に必要な基本施設の老朽化対策、滑走路端安全区域の整備事業を実施します。

また、令和3年3月1日より、北海道エアポート株式会社にて釧路空港の運営事業が開始しました。

釧路空港

航空機の安全かつ安定した運航を維持するため、進入灯橋梁の老朽化対策を進めます。また、航空機がオーバーラン又はアンダーシュート^{注)}を起こした場合に航空機の損傷を軽減させるため、滑走路端の外側に設ける平坦な用地(滑走路端安全区域(RESA))の造成を行います。

(注：アンダーシュート：航空機の着陸において着陸地点の手前に接地すること)



釧路空港進入灯橋梁改良状況

空港整備事業の概要

空港種別	空港名	事業の概要
国管理空港	釧路空港	進入灯橋梁改良、滑走路端安全区域造成